

# 災害に負けないライフラインへ!



いつ起こるかわからない災害に  
日頃からできる備えを!

## ①災害時給水拠点の確認

みなさんのご自宅からおおむね2km以内に災害時給水拠点があり、災害時には応急給水をするほか、非常用飲料水袋などを備蓄しています。万一の場合に備え、お近くの給水拠点をご確認ください(右図参照)。

## ②水の備蓄の心がけ

飲料水は1人1日3ℓ 3日分以上は備蓄しましょう。

ポリタンクやペットボトルなど  
水を入れる容器の準備

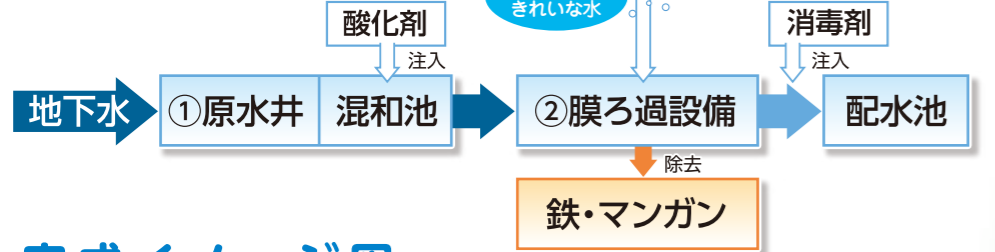
お風呂の残り湯も有効に  
火災時の消火用水また雑用水としても利用  
できますので、お風呂の残り湯はすぐに流さ  
ず貯めておきましょう。



## 片山浄水所水処理施設更新工事 (災害時でも安定した処理が 可能な施設に!)

### 新しい処理方法

<膜処理方法のイメージ>



### 完成イメージ図



**原水井と混和池**  
地下水に溶けている鉄やマンガン薬品により水と分離します。

**膜ろ過設備**  
原水はポンプの吸引によって膜を通過しろ過されるので、きれいな水だけが、配水池に流れます(分離した鉄・マンガンは膜を通過できません)。

【工事の目的】…老朽化し、処理能力が低下している片山浄水所の施設を更新します。

【工事の進捗と今後の予定】…平成28年10月に土木・建築工事の施工業者が決定しました(契約金額:税込約19億8千万円)。今後、機械設備工事及び電気設備工事の施工業者を選定し、平成33年3月の完成を目指して、安全第一で工事を進めます。

## 災害時給水拠点



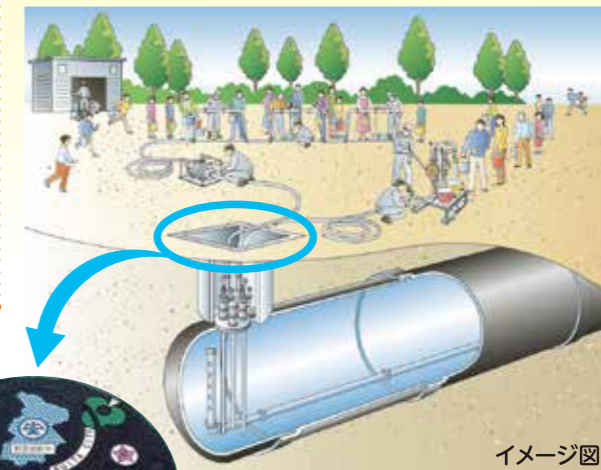
## 北大阪健康医療都市耐震性貯水槽 (岸部新町)

### 貯水槽の役割

【通常時】…水道管として使用しているため、常に清浄な水が流れています。

【地震発生時】…付近の配水管の漏水などで管内水圧が低下すると弁が自動的に閉まり、100m<sup>3</sup>(1人1日3ℓとして約1万人×3日分)の飲み水を貯えることができます。

### 新たに9か所目となる「災害時給水拠点」に位置付け



訓練の様子  
給水用スタンド 手押しポンプ  
貯えた飲み水をポンプでくみ上げて給水します。

赤色灯回転

マンホール(給水口)  
すいすいくんとすいたんのデザイン蓋



弁が閉まると  
赤色回転灯が  
つきます。



## 片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事(シールド工法)

平成28年度より  
工事開始



**シールド工法**  
シールド掘進機(大型のドリル状の機械)を用いて、自動操縦で地中深くを掘り進め、できたトンネルに耐震管を布設します。

【工事の目的】…片山浄水所と泉浄水所(約3km)を直径1000mmの管路でつなぐことにより、自己水を相互に融通させ災害時には片山浄水所から泉浄水所区域へのバックアップをします。

【工事の進捗と今後の予定】…平成28年11月に施工業者が決定しました。平成33年3月の完成を目指して、安全第一で工事を進めます(契約金額:税込約31億4千万円)。

今後も  
工事に関しての  
進捗状況をお  
伝えしていきます!

地域の皆様方には、工事でたいへんご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

